

▶ 辞書引きチャレンジ！

1 次の()には、同じ読み^{ちが}の意味の違う言葉が入る。
()に当てはまる漢字をそれぞれ書こう。

ルール 同音異義語の使い分けがわからない場合は、国語辞典を使って意味を確認する かくにん

① 母が（ ）める楽器店のイベントで、私は司会を（ ）めることになったので、
本番に向けて練習に（ ）めている。

② 毎朝、(きしょう) するとすぐに、(きしょう) 情報を確認する。

③ (^{けいこう}) ペンばかりを集めてしまう (^{けいこう}) がある。

④ 運よく最新の（^{きかい}）に触れる（^ふ）（^{きかい}）を得た。

⑤ 美術館で絵を（かんしょう）したあと、公園で紅葉を（かんしょう）する。

2 次の読みの漢字をそれぞれ三つ書こう。

ルール 三つ思いつかない場合は国語辞典を使って調べる

① きかん [. . .]

② こうか $\left[\begin{array}{cc} \cdot & \cdot \end{array} \right]$

「^{どうおん い ぎ こ}同音異義語」は、
読みかた（発音）は
同じだけれど、
意味が違う言葉だよ。



解答：1 ①勤、務、努 ②起床、気象 ③蛍光、傾向 ④機械、機会 ⑤鑑賞、觀賞
2 ①期間、機関、器官、帰還、基幹など ②効果、高価、硬貨、校歌、降下など

▶ 本資料の活用例

まず、知らない言葉を辞書で引く活動を——辞書に親しむ習慣づくり

辞書で言葉を調べることのほかに、次のような場面でご活用ください。

秋の言葉の例 [秋の季語]

- 短歌や俳句の創作活動を行うとき
- 生活記録や日記などに書くことがなくて困っている生徒に、身のまわりの「秋」を紹介してもらうことを促すとき

色を使った表現

- 物語や随筆などの創作活動を行うとき
- 教科書で読む教材の登場人物の心情や描写の表現の効果について考えるとき

本資料はウェブサイトでも
ご覧いただけます



語彙力アップサポート資料 語彙を豊かに「秋」

2026 年 8 月 1 日発行
編集・発行人／瀧本多加志

デザイン／次葉 玉造能之
発行所／株式会社三省堂

三省堂 〒102-8371 東京都千代田区麹町 5-7-2

三省堂 教科書・教材サイト <https://tb.sanseido.co.jp/>

※この冊子は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って配布しております。

語彙力アップ サポート資料

語彙を豊かに

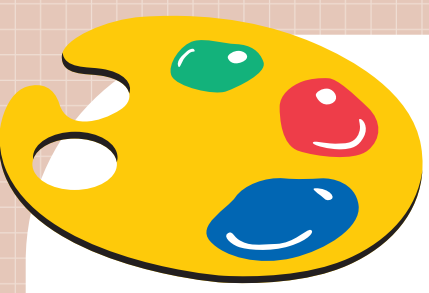
秋



さまざまな秋の言葉を使いこなそう（8月～10月）

秋の言葉の例〔秋の季語〕

時候 - はくろ 白露 - よなが 夜長 - あきくれ 秋の暮	 食べ物  - かぼちゃ 南瓜 - いんげんまめ 隠元豆 - いも 芋 - あきさば 秋鯖 - さんま 秋刀魚 - なし 梨 - ぶどう 葡萄 - まつたけ 松茸 - しんまい 新米 - りんご 林檎 - かき 柿 - くり 栗 - ぎんなん 銀杏 - らっかせい 落花生 - きんかん 金柑 - かんしょ 甘藷	動物  - かさぎ 鶺鴒 - ひぐらし 蜩 - すずむし 鈴虫 - うまおい 馬追 - こおろぎ 蟋蟀 - きりぎりす 螽斯 - とうろう 螳螂 - とんぼ 蜻蛉 - いなご 蝗	植物  - かじは 梔の葉 - ほうせんか 鳳仙花 - すすき 芒 - なでしこ 撫子 - まんじゅしゃげ 曼珠沙華
自然  - のわき 野分 - いざよい 十六夜 - あきしくれ 秋時雨 - ほうねん 豊年 - がき 吊るし柿	 - めいづつ 名月 - いしかくも 鱒雲 - つゆじも 露霜 - わたどり 渡り鳥 - こみお 木の实落つ	- きりぎりす 螽斯 - とうろう 螳螂 - とんぼ 蜻蛉 - いなご 蝗	- えのころぐさ 狗尾草 - ほおずき 鬼灯 - きく 菊 - わした 草綿 - なんてんみ 南天の実
生活  - けいろうひ 敬老の日 - たいいくひ 体育の日 - しんそば 新蕎麦 - いねかり 稲刈	- つきみ 月見 - もみじがり 紅葉狩 - かんなめさい 神嘗祭 - さむ うそ寒	- うずら 鶉 - ほおじろ 頬白 - きつつき 啄木鳥 - しじゅうから 四十雀 - しか 鹿 - いのしし 猪	- もみじ 紅葉 - もくせい 木犀 - どんぐり 団栗



あ か
赤

・朱
・緋色
・猩々緋

ポジティブなイメージ
情熱・元気・愛
ネガティブなイメージ
危険・怒り・警告

一人の少女が、緋のマントをメロスにささげた。
(太宰治「走れメロス」)

き
黄

・辛子色
・レモン色
・クリーム色

ポジティブなイメージ
希望・幸福・喜び
ネガティブなイメージ
注意・幼さ

そこには両側のみかん畑に、黄色い実がいくつも
日を受けている。(芥川龍之介「トロッコ」)

あ お
青

・紺碧
・群青
・コバルトブルー

ポジティブなイメージ
冷静・知的・さわやか
ネガティブなイメージ
さびしさ・憂鬱・未熟

紺碧の空に金色の丸い月がかかっている。(魯迅・[訳] 竹内好「故郷」)

みどり
緑

・深緑
・若草色
・ビリジアン

ポジティブなイメージ
健康・安心・生命力
ネガティブなイメージ
苦さ・不運

三太郎のあくびは、きれいな緑色のあぶくになって、
ゆっくりと沼の中を上っていった。(今江祥智「竜」)

ち や
茶

・焦茶
・黄土色
・セピア

ポジティブなイメージ
落ちつき・安心・ぬくもり
ネガティブなイメージ
古さ・地味

焦げ茶色の大きなショールに包まれて、膝の上には太い編み棒と
毛糸の入った手提げ籠があった。(内海隆一郎「小さな手袋」)

ピンク

うすべに
・薄紅
・桃色
・桜色

ポジティブなイメージ
やさしさ・かわいさ・革新的
ネガティブなイメージ
甘さ・子どもっぽさ

薄紅の秋の実に 人こひ初めしはじめなり (しまぎきとうそん「初恋」)

し る
白

・生成色
・乳白色
・アイボリー

ポジティブなイメージ
清潔・純粹・平和
ネガティブなイメージ
むなしさ・不吉

翌朝、サーカスの大テントのてっぺんに白い大きな鳥が止まっていて、
それが悲しそうに鳴きながら、海の方へと飛んでいったといいます。
(別役実「空中ブランコ乗りのキキ」)

くろ
黒

・灰色
・鉛色
・チャコール

ポジティブなイメージ
高級感・強さ
ネガティブなイメージ
恐怖・悲しさ

道行く人を押しのけ、跳ね飛ばし、メロスは
黒い風のように走った。(太宰治「走れメロス」)

色

を使った表現

色彩を表す多彩な表現を使いこなして、語彙を豊かにしよう。
物語や小説では、さまざまな色彩が生き生きと表現されています。
また、色使いやその対比が、場面の雰囲気や人物の心情を深く想像する手がかりになることがあります。

教科書に出てくる色彩表現の例

- 「すると、たちまち外の景色は闇に沈んでしまい、窓いっぱいに不透明な青い夜色に閉ざされてしまった。」(ヘルマン＝ヘッセ・[訳] 高橋健二「少年の日の思い出」)
- 「斜陽は赤い光を、木々の葉に投げ、葉も枝も燃えるばかりに輝いている。」(太宰治「走れメロス」)
- 鉛色の空の下、わびしい村々が、いささかの活気もなく、あちこちに横たわっていた。」(魯迅・[訳] 竹内好「故郷」)

